

平成14年から上ノ国町校長会のリーダーシップのもとPTAをはじめ教育委員会、養護教諭会、保健福祉課などの関係部署・団体と連携して「地域をあげて子ども達を飲酒・喫煙の害から守るための取組」を実施しています。

その結果、飲酒や喫煙の経験について、小学校・中学校・高校ともに0%という結果になりました。

〈活動の内容の紹介〉

- ① 小中学生の「飲酒」「喫煙」の実態調査と分析
- ② PTAによる「子どもたちを飲酒・喫煙の害から守るために」の呼びかけや各商店や施設へのポスター掲示と、平成21年からは保護者へのアンケートを実施
- ③ 保健師による飲酒喫煙薬物防止教室の実施
- ④ 上ノ国高校による各小学校へのピアサポート「喫煙防止出前講座」の実施

これらの活動は、「息の長い取り組み」と「学校・家庭・地域」が一体となって進める事が大切となります。

〈飲酒喫煙防止教室の感想について紹介します〉

- ・北海道の喫煙率が全国で1位で、特に女の人が高いことがわかった。
- ・タバコには、ニコチンやタールなど200種類の有害物質があることや副流煙の方が何倍も高くなる。
- ・タバコを吸うと脳に送られる酸素が少なくなるのでボーっとしたり、運動の時は、息が苦しくなる。
- ・タバコやお酒は依存症になったり、がんやいろんな病気になることがわかった。
- ・お酒やタバコを勧められても絶対飲まないし吸わない。タバコを吸っている人に近寄らない。

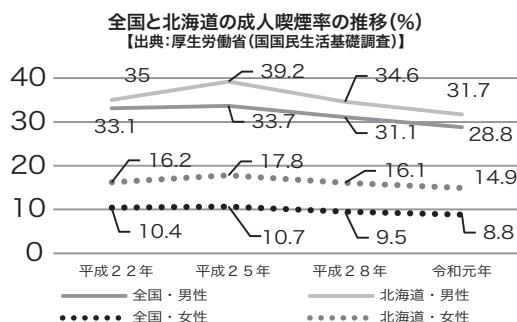
〈保護者のアンケートから〉

- ・子どものいないところで吸うようにしている。
- ・学校で学んできたことを、家で体に悪いと話して「止めたら」と言われた。
- ・子ども達に飲酒・喫煙の怖さを知ってもらうように大人が教えなければいけない。
- ・夫婦で禁煙できてよかった。
- ・夫婦で禁煙しようと思う。

〈喫煙率と死亡率〉

北海道の喫煙率は、女性は全国1高い状況です。

男性は、全国的にみても減少しており、北海道の男性は平成28年度4位から令和元年度は9位と下がっています。しかし、北海道では、昭和52年から平成30年まで悪性新生物（がん）が死因の1位となっています。部位別では、男女ともに肺がんによる死亡者数が1位となっています。さらに、受動喫煙により子どものぜんそくなどの呼吸器症状や乳幼児突然死症候群（SIDS）にも影響があると報告されています。



がん部位別死亡数【出典：厚生労働省（H30人口動態統計）】

男 性			女 性		
順位	種 別	死亡数(人)	順位	種 別	死亡数(人)
1	肺 が ん	2,867	1	肺 が ん	1,358
2	大腸がん	1,346	2	大腸がん	1,272
3	胃 が ん	1,323	3	膵 が ん	1,051
4	膵 が ん	984	4	乳 が ん	801
5	肝 が ん	815	5	部位不詳・不明	677

自身の健康そして未来ある子どもの健康を守るために、『節煙』を始めませんか。